

2022東京都人事委員会勧告出される

4年ぶり例月給引き上げ 0.2%

一時金0.1月引き上げ



例月給 若年層のみ引き上げ

連日授業だけでなく学校行事、保護者対応などお忙しい中、都労連批准投票ご協力ありがとうございました。おかげさまで都教組全体で91・3%の高率で批准することができました。しかし、東京都人事委員会は官民格差に基づいて、例月給を0・2%引き上げたものの、若年層だけです。

生活がより厳しい中高年層には反映されていません。

ここ数年コロナ感染拡大を防ぐために、日夜遅わぬ努力を、教職員の方々はしてこましました。その努力を評価しない人事委員会勧告に満身の怒りを覚えます。更にここ数ヶ月物価高に多くの労働者は苦しんでいます。また何度も要請してきた再任用、非常勤教員および会計年度職員の処遇改善には全くと言っていいほど触れられていません。

今ここで、東京都の

北多摩西ニュース

No.6

国分寺市光町1-40-12
Tel 042-576-1161(代)
Fax 042-575-0529
E-mail: kitanisi@crux.ocn.ne.jp
ホームページ: http://kitanisi.org/
東京都教職員組合
北多摩西支部情宣部

全教職員配布

2022年都人事委員会勧告

主な内容

- ・ 例月給 0.2%引き上げ
- ・ 一時金 0.10月引き上げ
- ・ 今後の課題
 - i 職務給の更なる進展など
 - ii 能力、業績を反映した給与制度の更なる進展
 - iii 新たな給与制度のあり方についての検討

都労連統一行動

11月11日(金)

- 突入の場合勤務時間終了前29分間統一行動
 - 回避の場合、時間外職場集会
- 具体的な指示は北西ホームページを見て下さい

**TUS募金
スタート
都教組運動
を支えよう**

職員は都労連に大きく団結して、すべての労働者の大幅賃上げを求めようではありませんか！

学校の窓

中三国語、慣

用句を学習しました。「今回のテストの結果には、あまりのひどさに目を(覆)った。」という問題。いつも元気に挙手発言するK・Uさんがサッと手を挙げます。指名すると、「目を(失)った。」の答え。「はい、それでは失明していませんね。」クラス爆笑。次の問題、「大雪のため多くの人が通勤のあしを(奪)られた。」またも、K・Uさん、手を挙げます。再度指名。「足を(く)じか)れた。」の答え。「はい、それでは怪我人続出ですね。」またもクラス爆笑。クラスがひとつになった空気を感じました。こんな些細なことの中にも対面授業の意味、大切さを感じました。

また、慣用句のプリントは普段取り組みのよくない生徒もよく取り組んでいます。長い文章の読み取りには積極的ではなくても、日常の中で使われるちょっと変わった言い回しは面白いのでしょう。日々の授業は文化を受け渡しているのだと再認識した日でした。

(M・Y)

10/9 「ゆきとどいた教育を求める会」が立川駅で訴え!

少人数学級早期実現・教職員増・支援学級の教室増!



「ゆきとどいた教育を求める都民の会」が立川駅頭で30人学級実現などを求める宣伝行動（11時～12時）を行い、北多摩西支部からも参加しました（写真）。

私立学校からは、先生方をはじめ、高校生も参加し、私学助成の増額と就学支援制度の拡充の訴えを3名の高校生がリレー方式で切実な思いを訴える姿に心を打たれました。子どもたちにバルーンを配布したり、平和を願う合唱を披露しながら、署名を集めました。50名余りの方が参加し、和やかな中に教育



条件整備の現状を強く訴えました。

《実践講座参加者の感想から》

- 聞いているだけで力がわく「私もやってみよう!」と思える内容でした。
- 今では当たり前になっている通常級での特別支援について詳しく知ることができてよかった。
- 自分の学級にいる子どもと似ている部分もあり、これからどうしていけばよいか考えるきっかけになりました。
- 子どもの「がんばりカード」を子どもと一緒に考える、というのがいいなと思いました。子どもも納得感があって、がんばろうという気持ちになると思います。
- 聞いているだけで力がわく「私もやってみよう!」と思える内容でした。
- ASDの子に対する支援の仕方を具体的な実践を基にお話しくださり、大変勉強になりました。
- 1つ1つの目標を達成しながら、自信をつけることは、学習指導や進路指導の観点からも大事!!個々の人格の形成につながる実践を聞き、私自身もまだできることがありそうだと思いました。目標や成長の可視化や人と人を心でつなげるという話も感動しました。

「聞いているだけで力がわいてきました!」
 発達の問題を抱えた子 担任としてできること
 自閉傾向のあるKくんが変わった原動力とは

10月7日、北西教育 センター主催の実践講座が開かれました（写真）。

通常学級で生活する発達の問題を抱えた子どもに対して担任としてどうしていけばいいのか。そういう悩みに応える若い先生による実践報告でした。

自閉傾向のあるKくん、身支度ができなかつたり、話していても

何よりもU先生の子どもを見る目があたたかく、周りの子どもたちもKくんによさしく接していました。

とても参考になるとともに温かい気持ちになる実践講座でした。

目が合わなかったり。そんなKくんに対して具体的な目標を一緒に立て、U先生は粘り強く取り組んでいきます。

